



第4回 実験実習支援センター Webセミナー

マウス利用の最新動向

-がん免疫研究等のためのHumanizedマウスの紹介、 多システムを利用したメカニズム解析の紹介-

日時 | 令和4年 6月 2日 (木) 17:00~

演者 | ジャクソン・ラボラトリー Ryuta Ishimura, Ph.D.
Manager of Molecular Biology Services
Genetic Engineering Technologies

ジャクソン研究所(JAX)は、人の健康を改善するためのゲノム科学を推進し、生物医学コミュニティに貢献することを目指しています。世界一のマウス系統数保持を誇り、それを世界の研究者に利用して頂くことが一つの使命です。マウス利用は近年大きな飛躍を遂げました。中でも、Humanizedマウスは、免疫不全マウスにヒト免疫細胞を移植し、ヒトにより近い免疫環境を構築したマウスです。JAXが確立に寄与したこのマウスはがん免疫研究等の分野で目覚ましい利用価値として注目されています。本セミナーでは、Humanizedマウスの紹介と、それ以外に疾患メカニズム解析で力を発揮する多システムを用いた研究について紹介致します。また、滋賀医科大学で主力とされているカニクイザルを用いた研究をサポートすることができればと考えております。

Microsoft Teams meeting: リンク先はウェブサイトの詳細情報をご覧ください

※ コンピューターまたはモバイルアプリで参加できます

【お問い合わせ】滋賀医科大学実験実習支援センター TEL:077-548-2300

共催：研究戦略推進室 産学連携推進部門

情報はWEBでもご確認いただけます

http://www.crl.shiga-med.ac.jp/home/seminar/web_sem/web20220602.html